

# たいよう

発行所  
太平洋基礎工業株式会社  
たいよう新聞委員会

## 最前線レポート

工事件名  
品川駅北周辺地区令和元年度  
道路排水その他

(その一) 工事

発注者

独立行政法人 都市再生機構  
東日本都市再生本部

請負者

鉄建建設株式会社

工事場所

東京都港区港南

工事内容

鋼製地中連続壁工

(NS-BOX)

- 造成延長 二五・八m
- 造成壁面積 四〇三・八二㎡
- 造成壁体積 三〇二・八七m³
- 壁深度 一六・〇m
- 壁厚 七五〇mm
- 芯材NS-BOX
- GHI-四〇〇×六八二／  
四〇九×七二五
- GHR-三九四×七四七／  
四〇〇×七四九
- H三九〇×三〇〇／  
H四〇〇×四〇〇
- L一一五・〇m

当現場は、高輪ゲートウェイ駅の第二東西連絡道路工事に於いて、鋼製連続壁工事としてTRD工法を施工しました。現場は、西側に東海道新幹線本線と東側に東海道新幹線大井回送線

があり両線路が交差する箇所です。その為、JR東日本様との協議により、クレーン移動範囲は両線路高架脚から一八・〇m以内の箇所まで、ブーム延長は一六・五mまでとし、両線路側にブームを向けないように施工をしなければなりません。そこで、クレーンのブーム伸縮が可能であるテレスコピックレーン(TK-七五〇G)を使用し施工を行いました。

施工前に、防護パイプとNS-BOX建込定規の作成を検討準備しました。防護パイプは、芯材GHRのセクション部に固化液が流入し、硬化を防止する目的として使用し、翌日の建込に支障が出ない様にするためのものです。一日の最終建込芯材(GHR)のセクション部に設置し同時建込をしました。そのため翌日の芯材建込に影響がありませんでした。NS-BOX建込定規は、下杭と上杭NS-BOXとの大きさが異なることと、一本ずつ芯材の形状が変わる為、建込時の定規変更・芯材の種類変更が可能にできる様に作成し、問題もなく芯材を建て込めることが出来ました。

TRD工法に於いては、施工延長の約九割が曲線となっており、六m進むごとに三六度折れていく為、掘削において間違えがないよう測量にはとても気を使いました。TRDオペレーターも折れ点が短い間隔である

## 声援

一月に入り早いもので今年もあと二ヶ月となりました。年を重ねることに月日が過ぎるのが早く感じるようになりました。最近では、朝晩寒く昼は暖かい気候で、体調管理が難しい季節になっていきます。また、新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス感染の危険もありますので、皆様におかれましては、感染予防対策をして、十分に気を付けて頂きたいと思っております。

今年の出来事と言えば、やはり新型コロナウイルス感染症の世界的流行ではないでしょうか。一月下旬頃から報道され、毎日テレビ等で新型コロナウイルス関連のニュースを耳にします。最近では新規感染者数が増加傾向となり、「第三波襲来か」

と騒がれています。世界中でワクチンの開発がされているとは思いますが、早くワクチンが出る事を願うばかりです。八月には安倍首相が体調悪化を理由に辞任し、菅首相になりました。またアメリカでは大統領選挙が行われており、結果はまだわかりませんが、報道ではバイデン氏が勝利宣言をした様です。どんな組織でもリーダーが変わると良くなることもあれば悪くなることもあると思っております。

例えば、プロ野球やプロサッカーチームの監督が変わると、弱かったチームが強くなり優勝する事もあります。その逆もあり、調子が良かったのが悪くなる事もあります。日本のリーダーである首相が変わり、どの様に変わるかは分かりませんが、今まで以上に安心安全で暮らし易い世の中になればいいと願っております。

おられます。

今期の名古屋支店は、一〇月末で受注目標を達成し、期末には完工目標も達成する見込みです。

全店の要と言われている名古屋支店、支店長を筆頭に各部署の頑張り、各部署間が協力することによる相乗効果がもたらした結果ではないかと思っております。

私が所属する環境部は、太陽光・土壌浄化工事・井戸工事が主な営業種目となっております。

昨年から施工中の大規模な土壌浄化工事のおかげで、今期の完工目標は達成する見通しが立っておりますが、受注がまだまだ不足しています。期末まであと二ヶ月半、受注目標達成できるように努力してまいります。

先日、土壌関係のお客様と話す機会がありました。「新型コロナウイルス」

コロナウイルスの影響で、調査や対策工事の話が中断している案件がいくつもある。」と仰っていました。新型コロナウイルスが収束すれば、中断している案件が動き出し受注に繋がると期待したいものです。

名古屋支店環境部は小さい部署ではありますが、名古屋支店及び全社に貢献できるように、部員一丸となって努力する所存です。

これからの季節、ますます寒さが厳しくなります。皆様におかれましては体調管理をし、安全第一・良質工事ですまは年末まで、そして目標達成を目指して期末まで頑張りましょう。

名古屋支店 環境部  
部長 柴田 久則

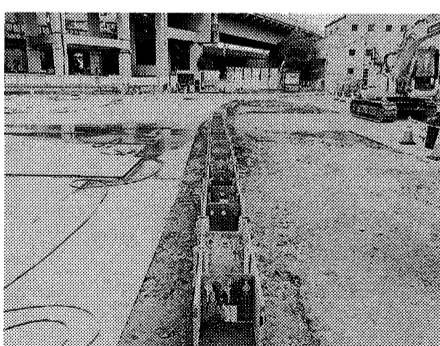
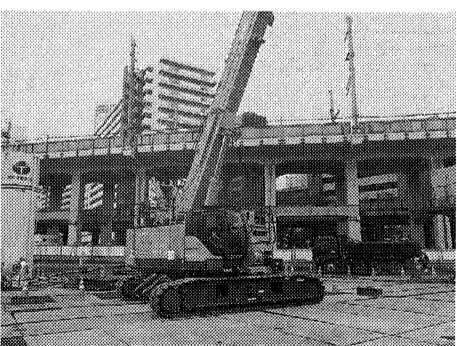
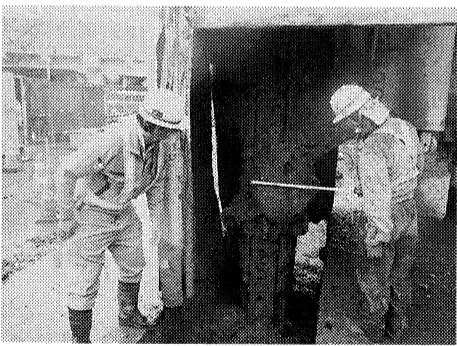
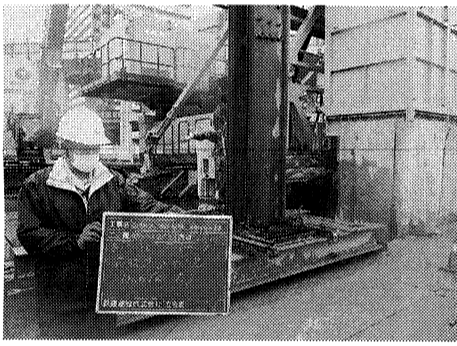
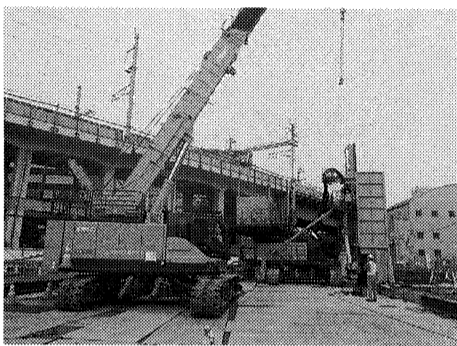
世界中が注視してききました米大統領選挙。現職有利という一般の見かたの中、大接戦の末、挑戦者が小差で大金星。

選挙運動の様子を連日テレビ放映。候補者がおられるのか熱狂的。支援者に候補者が背中を押されるのか政治に無関心者が多い日本とは大きく異なる超々過激、超々過熱の選挙戦。民主主義ここにありと羨ましい思いも致しました。

他国の事ながら大統領選による対立と分断。混乱による国論を二分した溝を新任の大統領には一日も早く世界平和の安定、繁栄に向けて日常を取り戻して頂きたいと願っております。

日本の国会も始まりました。安倍一強による強権的政治手法に種々批判も多くあり、新政権に期待する人が多い中で国会開会。学術会議員の任命に於いて学問の自由が奪われた政治権力の介入と異議を問う野党に前政権のモリ、カケ、サクラ同義肝心なところは任命権者として一切答ええない。透明性にかけて説明責任に欠ける。考えてみれば前政権を支え政治目的も継承を柱とした現政権の国会運営、手法が変わらない事は仕方なし、異論を唱える側近を排除し続け共和党内から選挙には不正があった。裁判による決着を公言する大統領に与野議員からもプーイング批判が出ている。比べて日本、任命権者に与野議員、誰一人異議を唱える人もなし、諷める人もない。逆らって冷や飯はご免と音なしの構え。本当のところ言いたい事が山ほどあっても言えない。自由にもが言えない名ばかりの自由民主党。消化不良国会議員蔓延の党かと思えてならない。権力で抑える政党に未来なしと思ったりしています。

顧問 豊住 満



# 事業所だより

一月に入り、より一層肌寒くなり、防寒着が手放せなくなる季節になってきました。今年の冬は、例年のインフルエンザに加え猛威を振るっている新型コロナウイルスにも警戒しなければならぬ例年と違った特別な冬になると思います。体調管理には、特に気を付けましょう。

記事を書いている今、アメリカでは、大統領選挙が行われています。ニュースを見てみるとバイデン氏の勝利宣言が度々行われていました。バイデン氏の公約の中で環境インフラに四年間で二兆ドルの資金を投じるとの事です。その中には、五年間で太陽光パネルを五億枚設置することも含まれているそうです。他国の事ではありますが、建設業にとってはかなり大きい市場規模になるのではないかと考えられます。環境インフラの整備は、今後我が国でも加速していくのではないのでしょうか。

当社も太陽光パネル設置工事、環境負荷低減になる、気泡掘削

工法など多種多様な工種をとり備えています。それらの、技術をより一層磨き、時代のニーズに対応するようにアンテナを張り巡らせなければならぬなと思っています。

さて、千葉出張所ですが、平成二十二年二月に開設され東日本の機械の拠点として一年間千葉市花見川区に居を構えていたのですが、敷地面積が約六〇〇坪と、大型重機を置くには少々手狭です。また、交通の便もあり良くない場所ということもあり、以前から移転の話が出ていました。今年に入つて、いよいよ千葉県山武郡芝山町に約一五〇〇坪の土地を購入し、今年の十二月には移転となります。近くには日本の空の玄関口、成田空港があり、交通の面でも快適な場所となっております。今現在、砕石敷・仮囲い・ゲートの設置を終え、機械の移設を急ピッチで行っている最中であり、神守研究開発センターも、大型重機の設備投資でヤードが手狭

## トラブル事例から学ぶ 学習会に参加して

毎年行われる学習会ですが今年にはコロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となりました。今回の学習会では、各支店・営業所において、主に様々な工事でのトラブル事例および反省が多く取り上げられました。現場において、トラブルは必ず発生し、原因は設計・計画・安全・施工・品質・原価管理など多岐に渡ります。設計および計画が現場に適しておらず、変更も出来ずに施工をするケースや、品質においてその場合は良くても後から問題となり、やり直しとなるケース、また認識不足

や習熟度が足りずに新たな工程や原価が発生してしまうもの等があり、自分一人では対処できないものはありません。

自分の行った地盤改良の施工についても、質疑の中で他の工法では本場にだめだったのか。もっと事前に検討する事案が無かったのか。問題の対応や調整・変更等をお願いする元請様やそれを励行する業者の方々のことを考えると非常に悔いが残りま

す。

オーナーのメッセージにもありましたが、基礎工事は経験が大切です。土の中の事は難しい。

失敗する事もあっても繰り返さない事が大切。昨今の工事については、難易度の高い現場が多く、専業者として安全・原価・品質で更にレベルの高いものが求められます。今回の事例・対応および反省を今後の現場に反映・水平展開すること、後のことまで見通しその場限りで良いとするのではなく、手直しの無い無事故で品質の良い施工を行いたいと改めて認識しました。

また、今回の勉強会では新しい工法の紹介もあり他支店の方々との有意義な意見交換ができました。有難うございました。

東京支店 工務部  
小田嶋 雄輔

になつてきていることもあり、機械の拠点としても神守研究開発センター負担の軽減にもなります。また、東日本に大きな拠点ができることにより、機械運搬のコストも軽減し、迅速な機械提供を行える事になります。

今後、神守研究開発センターとの協力体制も十分に整え、他支店を支えられるような場所になれるように、整備し、東日本の機械の玄関口として機能を発揮できればと思います。

まだまだ、不十分な事も多数あると思いますが、新たな千葉出張所開設に向けて、皆様のご協力とお力添えを宜しくお願い致します。

千葉出張所 所長 神園 正一



## 建設技術フェア2020 in 中部に出展しました

令和二年一月一日(水) 一五日(木)の二日間、名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)にて建設技術フェア2020 in 中部が開催されました。

コロナ禍ということもあり開催が危ぶまれましたが、感染対策を万全にして開催すると主催者側からの連絡があったため弊社も出展する事にしました。出展者数二一六(前年比△二七)、来場者数一三、〇六〇名(前年比△一、八二五)とコロナ禍にも関わらず大変多くの方が出展・来場され、活気あふれるフェアとなりました。

当社は設計・施工部門で出展し、今年も前年出展した地中障害物除去を主体とするBG工法(油圧式万能型大口径掘削工法)をメインに、地下埋設物除去というコンセプトでヒロワークK mi g h t y 工法(杭抜)を展示してPRさせて頂きました。また今年は何日本パウアー様の協力のもとプレゼンテーションをさせて頂きました。

来場者数としては、一日目も二日目とも天気に恵まれましたがコロナ禍ということもあり例年よりも半数近くになると予想していましたが、しかし、予想に反して一日目は一三〇名程度、二日目は一〇〇名程度で集計してみると昨年よりも多くの方が弊社のブースに来ていただきました。

プレゼンテーションにおいて二日目の昼一での開催となり、同じ時間にCPDが発行されるセミナーと重なりました。一日目の同じ時間のプレゼンテーションの来場状況を確認しましたが、埋まっていた席数の三分の一も

社員のプレゼンもあまり来場していただけないのではと少々不安に駆られながら待っていました。が、用意していた席が足らなくなり追加するほどお客様が見えなくなり大盛況となりました。

プレゼン後には弊社ブースに訪れてより詳しい内容を聞きたいという方もおり、多くの方にBG工法をPRできたのではないかと感じております。

また今年も学生向けにインタビュ用シートのチラシを作成し、一人でも多くの若手社員を獲得できるように学生にPRして頂きました。学生もコロナ禍ということもあり、あまり来場しないと思っていました。貸し切りバスで来場する学生もいて用意していたチラシがなくなるといった状況でした。中には二〇分ほど足を止め熱心に弊社のことを聞いている学生もおり、この中にも未来の仲間がいることを期待しております。

最後になりましたが、弊社ブースにお越し頂きましたお客様、プレゼンテーションに協力していただいた何日本パウアー様にこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

名古屋支店 工務課  
係長 田中 忍



## ひとり言

### 快食

三期、本社からセンターに席を移しその間、二年間本社に戻りましたので、センター在勤二年になります。

朝は一日の始まり、朝が勝負と六時三〇分にはオフィスで朝食をとっていました。家内の存命中は決まって海苔に包まれたおにぎり二個、具材は決まって鮭の切り身と梅干各一個。没後一年になりますので、遇直に二年間作る方も作る方、食べる方も食べる方、具材を変えてくれなど一度も言わず愛妻おにぎりとして食べ続けました。一般的に弁当と言えは昼ですが、私の場合は朝弁当でした。今では朝食は近くの二四時間営業のレストランで済ませています。時折あのおにぎりが恋しくコンビニでおにぎりを買っています。無くしたものは大きいと言います様に、二年食べ続けたおにぎりの味には程遠く、もう一度懐かしきあのにおにぎりを食べたいとこんなところで家内を偲んでいます。

食の細い私は、ランチはラーメンさえ一部残す状況です。夕食はほとんど食べない。お酒の肴ぐらい。それなのに冬になれば越前まで出掛け蟹料理。折角行っても手が汚れるとか面倒だと手を付けられない。ふくは福とか

術後四六年になります。大腸ガンを全摘を行いました。食の細い私と多くありました。食の細い私としてはそんなに苦になりませんでした。主治医からは、腸の働きを促す為に、もよおさなくても通便に行きなさいと言われ以降排便できると、真に宗教の世界、これで俺は大丈夫と信じてきました。が、摂取量が少ない分、快便になつたためしなし。快眠、快食、快便、健康三大条件ひとつもクリアできていない。本気になつて快食、快便、善のリスムへ生活習慣を変えなくてはならない。

### 快便

岡田 雄馬  
大阪支店 広島営業所

## 共済会だより

☆結婚おめでとうございます  
九月十五日  
宮川 智春  
東京支店 開発部

☆新しい仲間  
十一月一日  
川本 将成  
神守研究開発センター

☆お疲れ様でした  
一〇月三〇日  
結城 定子  
長野支店 新潟営業所

一〇月三〇日  
中田 卓廣  
大阪支店 工務部